

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ健康課	職	課長	氏名	徳田 伸一
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	片山 達也
評価者	組織	保健体育課	職	課長	氏名	近岡 守

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	学校体育・健康教育の推進	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	58.0 (H32)	53.8 (H27)	54.2 (H28)	B
施策2	生涯スポーツの普及・振興	県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	人	400,000 (H32)	334,271 (H27)	351,845 (H28)	A
施策3	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,437 (H27)	2,514 (H28)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性		
					(年度)	(年度)								
施策1	課題1	学校体育の充実	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A、B)の者の割合	%	58.0 (H32)	53.8 (H27)	54.2 (H28)	1	いしかわっ子体力アップ推進事業	全公立小・中等高等学校	500	498	B	継続
								2	運動部地域指導者派遣事業	中・高校	2,852	2,810	B	廃止
	課題2	通学路の安全対策の推進	小学生の交通事故件数	件	70 (H32)	78 (H27)	67 (H28)	3	通学路安全推進事業	全公立小学校	1,081	992	A	継続
施策2	課題1	生涯スポーツ活動の推進	「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」参加者数	人	400,000 (H32)	334,271 (H27)	351,845 (H28)	4	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	10,000	9,655	A	継続
								課題2	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	市町	19 (H32)	13 (H27)	13 (H28)
施策3	課題1	競技力向上対策	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,437 (H27)	2,514 (H28)	6	選手強化事業	強化指定選手	192,900	192,366	C	継続
								7	高等学校運動部活動強化指定事業	指定運動部	20,000	20,000	B	継続
								8	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	7,500	B	継続
								9	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,500	2,500	B	継続
								10	いしかわグローバルアスリート支援事業	指定団体	8,000	8,000	B	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> いしかわっ子体力アップ推進事業	<b>事業開始年度</b> H19	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川の教育振興基本計画	

<b>作組</b> 保健体育課	<b>職氏名</b> 課長補佐 居村 吉記
<b>者電話番号</b> 076 - 225 - 1853 内線 5684	

**事業の背景・目的**

全国的に児童生徒の体力はピーク時に比べると依然として低く、本県においても同様の傾向が見られる。児童生徒の体力向上は、活力ある県民の育成のためにも欠かせない課題である。そこで、県内すべての公立小・中・高等学校において体力・運動能力調査の結果を踏まえた体力向上の取組みを実践するとともに、その取組みをより発展させていくために、すべての学校を対象とした研究協議会を実施する。

**事業の概要**

- 1 体力・運動能力調査の結果を踏まえ、児童生徒の実態や学校の実情に即した「体力アップ1校1プラン」の取組  
対象:全公立小・中・高等学校

- ・実施計画書(Plan)の作成 [H28年4月]
- ・取組の実践(Do) [4月～3月]
- ・取組の評価(Check)及び実施報告書の作成(Action) [H29年3月]  
(P・・・計画、D・・・実践、C・・・評価、A・・・改善)

- 2 研究協議会の開催(年1回)
  - (1) 講演・・・大学教授等による講演
    - ・体力の意義
    - ・体力向上に関する最新情報
    - ・学校教育活動における効果的な体力向上策 など
  - (2) 発表・・・「体力アップ1校1プラン」の実践発表
    - ・質疑応答
    - ・講評
  - (3) 解説・・・本県体力・運動能力調査の結果について(解説)
- 3 「スポチャレいしかわ」優秀クラス表彰(小学校対象)

**これまでの見直し状況**

平成19年から20年にかけて、「いしかわっ子研究校指定事業」を実施し、研究指定校による実践研究の公開や報告書の発行等を実施してきたが、体力の向上は活力ある県民の育成のためには欠かせない課題であるため、「体力アップ1校1プラン」を軸として今後とも継続的に体力向上に取り組んでいく。

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	学校体育・健康教育の推進					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	学校体育の充実						
	<b>指標</b>	新体力テストの5段階評価で上位ランク(A,B)の者の割合				<b>単位</b>	%
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	58.0	51.1	51.5	53.0	53.8	54.2	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>事業費</b>	予算	499	499	500	500	500
	決算	494	232	481	495	498
<b>一般</b>	予算	499	499	500	500	500
	決算	494	232	481	495	498
<b>事業費累計</b>		5,404	5,636	6,117	6,612	7,110

評価		
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	全ての公立小中高等学校を対象とした学校独自の体力向上計画である「体力アップ1校1プラン」の継続した取組により、新体力テストの総合評価が上位ランク(A・B)の者の割合がH27から平均0.4ポイント上昇するなど、年々上昇している。 また、本県が行う小4から高3までの体力・運動能力調査における体力合計点においてもH27から平均0.02ポイント上昇し、調査を始めたH18から引き続き上昇傾向を示している。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むか)	継続	体力は健康の保持増進のみならず、学力向上においても気力の源であり、学習指導要領の理念である「生きる力」の極めて重要な要素である。 今後も、本事業により、「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」を継続して実施し、全県的な児童生徒の体力の向上を図っていく。 また、本県の課題(握力、立ち幅とび)において、実践研究や研究協議会での講演等を通して改善に努める。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	運動部地域指導者派遣事業	事業開始年度	H13	事業終了予定年度	H28	作 組 織	保健体育課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 居村 吉記
						者 電話番号	076 - 225 - 1853 内線 5684

**事業の背景・目的**

近年、少子化による生徒数の減少により学級数が減り、それに伴い学校への教員の配置人数が減少したことから、運動部活動を指導する教員が減少した。それに加え、教員が高齢化し、運動部活動の指導が困難になるなどの問題が生じている。

そのため、スポーツ指導の資格を持った地域の指導者を中学校や高等学校の運動部活動に活用することにより、専門的指導を求めている生徒のニーズに応え、運動部活動の充実と活性化を図る。

**事業の概要**

1 地域指導者派遣事業

- ・派遣対象: 県内公立中学校・公立高等学校
- ・派遣人数: 中学校 41名・高等学校 7名 計48名
- ・派遣回数: 1回(2時間程度)×年間20回
- ・指導者の資格
  - ア 日本体育協会が認定するスポーツ指導者の資格を持ち、本県のスポーツリーダーバンクに登録されている者
  - イ 武道(柔道、剣道、弓道、相撲、なぎなた)については3段以上の有段者
  - ウ 優秀な競技歴または指導歴(全国大会出場等)を有し、上記ア、イに相当する資格を有する者
  - エ 学校教育に理解があり、競技の専門性と社会的信望を有し、学校長が特に推薦する者

2 地域指導者等研修会(年1回)

- ・趣旨: 運動部活動を指導する地域指導者及び運動部顧問の指導力向上を図るとともに、学校における運動部活動のあり方を理解する。
- ・派遣対象: 地域指導者及び該当学校部活動担当者
- ・派遣人数: 地域指導者48名、該当学校部活動担当者30名 計78名

3 スポーツ医科学研修会(各校年2回)

- ・派遣対象: 地域指導者派遣事業の対象校
- ・派遣校数: 中学校11校・高等学校4校 計15校
- ・派遣回数: 1校(2時間程度)×年間2回×1名

施策・課題の状況						
施策	学校体育・健康教育の推進				評価	B
課題	学校体育の充実					
	指標	新体カテストの5段階評価で上位ランク(A,B)の者の割合			単位	%
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	58.0	51.1	51.5	53.0	53.8	54.2

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	2,668	5,045	3,352	2,746	2,852
	決算	2,668	4,765	3,278	2,632	2,810
一般	予算	0	0	0	0	0
財源	決算	0	0	0	0	
事業費累計		81,426	86,191	89,469	92,101	94,911

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	本事業の実施により、中学、高校の運動部活動において、競技の技術や技能の専門的指導を求める生徒のニーズに応えるとともに、部員の意欲の向上や連帯感の醸成が図られ、また、医・科学の専門的な知識を有する者を活用することにより、部活動の充実と活性化が図られている。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間互のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	平成13年度より本事業を継続して実施してきたことにより、各市町、高校においては、多くの運動部活動で地域のスポーツ指導者を活用するようになり、県からの派遣以外でも、現在では、毎年、中学校では約500名、高等学校で約150名が指導にあたるまでに定着してきたことから、今後は各市町・学校として取り組むこととし、本事業は廃止する

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	通学路安全推進事業	<b>事業開始年度</b>	H25	<b>事業終了予定年度</b>	
		<b>根拠法令</b>			
		<b>・計画等</b>			

<b>作成者</b>	<b>組織</b>	保健体育課			
	<b>職・氏名</b>	課長補佐 真木 聖次			
	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1847 内線 5645			

**事業の目的**  
 文部科学省では、登下校中の交通事故が相次いで発生したことを受け、交通安全の面から学校安全をより確実にすることが重要だとして、通学路安全対策アドバイザーを学校に派遣し、専門的な見地からの必要な指導・助言のもと、学校、教育委員会、関係機関等と連携し総合的に通学路の安全対策を推進する「学校安全推進事業」を実施するとしていることから、本県においても実施し、通学路の安全確保を図る。  
 また、登下校中の子供たちが被害者となる事件が繰り返し発生していることから、地域の関係機関やボランティアとの連携強化が図られるよう講習会を開催する。

**事業の内容**  
 (1) 通学路安全推進事業  
 1 通学路安全対策アドバイザーの派遣  
 ・市町へ通学路安全対策アドバイザーを派遣し、通学路の合同点検を実施する。  
 ・通学路安全対策アドバイザー21名  
 2 通学路安全推進委員会の開催(2回)  
 ・事業の趣旨、実施方法等についての共通認識を図る。(第1回)  
 ・事業に関わる報告等を行い、成果を検証する。(第2回)  
 ・参加者：有識者1名、アドバイザー21名、市町担当者19名、教育事務所4名、警察1名、県土木1名、事務局5名 計52名  
 3 各市町で通学路安全対策推進連絡協議会の開催  
 ・アドバイザーが派遣される市町において、学校、警察、道路管理者、教育委員会、PTA等を交えた連絡協議会を開催し、安全対策等について協議する。  
 4 全国連絡協議会への参加  
 (2) 学校安全教室推進事業  
 学校安全ボランティア講習会の開催

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	学校体育・健康教育の推進				<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	通学路の安全対策の推進					
	<b>指標</b>		小学生の交通事故件数		<b>単位</b>	件
	<b>目標値</b>		<b>現状値</b>			
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	70	132	117	100	78	67
事業費						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>事業費</b>	予算	-	675	929	893	1,081
	決算	-	358	876	871	992
<b>一般財源</b>	予算	-	0	0	0	0
	決算	-	0	0	0	0
<b>事業費累計</b>			358	1,234	2,105	3,097
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	通学路における交通(道路)状況も年々変化してきている中で、学校、教育委員会、関係機関等が連携して通学路の点検を行うことで危険箇所を見つけ、早期に対策を講じることで児童の安全が確保され事故件数の減少(11件減)につながり成果を上げている。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間互のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むか)	継続	一度点検した場所であっても道路状況等が変化していることがあるため、関係機関と連携した点検は今後も必要であり、継続して取組む。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画		

作 組 織	スポーツ振興課				
成 職・氏名	課長補佐 武田 孝伸				
者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4381				

**事業の背景・目的**

過去2回(2011年、2015年)開催した日本スポーツマスターズ大会によって醸成された、生涯スポーツの気運の高まりを継承するため、19市町の参加のもとに、総合開会式や各種教室等を実施することで、本県の生涯スポーツの振興をより確かなものにする。

**事業の概要**

- 1 主 催 石川県、石川県教育委員会
- 2 期 日 平成28年5月～6月(中心開催期間)
- 3 参 加 者 約26,000人
- 4 内 容

(1) 総合開会式 平成28年4月30日(土)  
 (※総合開会式:44種目団体が4年に1回参加)  
 会 場：いしかわ総合スポーツセンター  
 参加団体：11種目団体(約1,000名)、市町参加者(約1,000名)  
 内 容：大会長(知事)あいさつ  
 選手宣誓  
 アトラクション(遊学館高校バトントワリング部・小松工業高校吹奏楽部) 等

- 総合開会式終了後のプログラム
- ①種目別大会  
 フォークダンスフェスティバル、バウンドテニス大会
  - ②スポーツ交流教室  
 講師:宇多田 円 氏 (デューク更家 公認ウォーキングスタイリスト)
  - ③健康づくりプログラム  
 運動能力測定、AGE測定、健康相談、ロコモ度チェック

(2) 種目別大会・協賛大会  
 44種目別大会(グラウンドゴルフ他)  
 14協賛大会(総合型地域スポーツクラブ)

内 容：大会魅力アップ・参加者拡大への取組  
 (取組例) 親子体験教室  
 県内有力チームとの交流大会実施  
 チラシ・ポスター作成、立看板・のぼり旗制作、  
 大会参加記念バッジの配布 など

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	A
課題	生涯スポーツ活動の推進					
指標	「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」参加者数				単位	人
目標値	現状値					
平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
400,000	289,040	304,359	318,967	334,271	351,845	

事業費						
(単位:千円)		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	予算	5,075	5,075	5,075	5,075	10,000
	決算	5,075	4,870	5,024	4,676	9,655
一般	予算	2,367	2,002	2,984	2,666	7,591
財源	決算	2,367	2,002	2,917	2,574	7,246
事業費累計		192,408	197,278	202,302	206,978	216,633

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	A	大会活性化のための総合開会式の開催や、各種目団体・協賛大会開催クラブの協力による取り組みの成果により、全体の参加人数は過去最高となる26,275名となった。種目別大会および協賛大会では、広報・活性化プランを実施し、大会の活性化を図った結果、参加人数が前年度より1,267名増加した。また、市町によるニュースポーツ体験広場では、昨年度を大きく上回る10,106名の参加があった。特に金沢市では、昨年度に続き、3日間開催とし、親子対象のイベントやスポーツ教室などを新たに開催した結果、多くの参加者があった。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	今後も、種目主管団体と体験広場の開催市町及び総合型地域スポーツクラブの協力のもと、県民の誰もが気軽に参加できる大会とし、県民のスポーツライフの充実をめざす。



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 広域スポーツ支援センター事業	<b>事業開始年度</b>	H16	<b>事業終了予定年度</b>	
	<b>根拠法令・計画等</b>	石川の教育振興基本計画		

<b>作</b>	組	織	スポーツ健康課		
<b>成</b>	<b>職・氏名</b>	課長補佐 武田 孝伸			
<b>者</b>	<b>電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4381			

**事業の背景・目的**

地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、運営をサポートする。クラブ設立・運営のためにクラブマネジャーの養成やスキルアップ講習会の開催、指導・助言を行う講師の派遣を行うとともに大学とクラブの連携を推進する。また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

- 事業の概要**
- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
  - 2 クラブマネジャー養成講習会
  - 3 クラブマネジャースキルアップ講習会
  - 4 地域スポーツクラブ支援ネット石川(クラブネットいしかわ)の開催
  - 5 文部科学省等への会議出席、県内巡回指導
  - 6 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用

**これまでの見直し状況**

平成16・17年度に国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施し、平成18年度よりは県単独事業として、広域スポーツ支援センター事業を行っている。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	生涯スポーツの普及・振興	<b>評価</b>	C			
<b>課題</b>	総合型地域スポーツクラブの創設を支援					
	<b>指標</b>	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	<b>単位</b>	市町		
	<b>目標値</b>	現状値				
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	19	11	11	12	13	13

事業費						
	<b>(単位:千円)</b>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>事業費</b>	予算	8,468	2,465	2,465	2,374	2,374
	決算	8,295	2,351	2,425	2,374	2,246
<b>一般</b>	予算	8,468	2,465	2,465	2,374	2,374
	決算	8,295	2,351	2,425	2,374	2,246
<b>事業費累計</b>		40,886	43,237	45,662	48,036	50,282

評価	
<b>項目</b>	<b>評価</b>
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p> <p>今年度の県内市町のクラブ数増加はなかったが、小松市、能登町、穴水町において準備委員会が立ち上がり、クラブ創設に向けて継続的に取り組んでいる。 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」は、年々アクセス数が増加しており、県民にスポーツ情報を継続的に発信することができた。 (H27:306,524件 H28:321,485件)</p>

<b>今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</b>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">継続</p> <p>第2期石川の教育振興基本計画の施策の一つとして掲げている、総合型地域スポーツクラブの創設および運営支援については今後とも自主運営ができるよう指導助言していく。 また、総合型地域スポーツクラブが地域スポーツの担い手として、継続的・安定的に運営できるように支援するために、広域スポーツ支援センターにおいて、クラブアドバイザーを設置し、個々のクラブにきめ細やかな指導・助言を行う。</p>
---	---

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	選手強化事業費	<b>事業開始年度</b>	S38	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	スポーツ健康課		
		<b>根拠法令・計画等</b>	石川の教育振興基本計画				<b>成 職・氏名</b>	課長補佐 黒坂 昭弘	
						<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4378		

<p><b>事業の背景・目的</b> 国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「和歌山国体」での天皇杯得点順位20位台以内を踏まえ、短・中期的な計画のもとさらなる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。</p> <p><b>事業の概要</b> 1 選手強化事業 (1)目的 国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。</p> <p>(2)成年強化事業 ア 基礎強化 対象者 41競技803人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手) 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等 イ 重点強化 対象者 過去2回(69,70回)の国体で実績ある競技団体 北信越大会で実績のある競技団体 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等</p> <p>(3)少年(中・高)強化事業 ア 基礎強化 対象者 38競技701人(監督・コーチ・強化選手) 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等 イ 重点強化 対象者 過去2回(69,70回)の国体で実績ある競技団体 北信越大会で実績のある競技団体 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等</p> <p>(4)国体追加競技種目強化事業 対象者 7競技53名(監督・コーチ・強化選手) 内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等</p> <p>備考 期 間 平成28年4月1日～平成29年3月31日</p> <p>2 一貫指導ジュニア育成事業 (1)目的 作成した一貫指導プログラムを基にジュニア競技者の育成を図り、競技力向上につなげる。 (2)対象 指定6競技団体 ゴルフ、柔道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、フェンシング</p> <p>3 体育団体組織強化事業 (1)目的 国体開催以外の各競技の組織及び選手強化事業を実施 (2)対象 15団体 綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会</p>	<b>施策・課題の状況</b>						
	<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化			<b>評価</b>	B	
	<b>課題</b>	競技力向上対策			<b>評価</b>		
	<b>指標</b>	スポーツ指導者(有資格者)数			<b>単位</b>	人	
	<b>目標値</b>	現状値					
		平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		3,000	1,843	2,066	2,138	2,437	2,514
	国民体育大会	<b>目標</b>	20位台前半	同左	同左	同左	同左
	総合順位	<b>実績</b>	28	16	29	36	
	<b>事業費</b>						
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<b>事業費</b>	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	192,900	
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	192,366	
<b>一般</b>	予算	190,200	190,200	190,200	190,200	192,900	
	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	192,366	
<b>財源</b>	決算	190,200	190,200	190,200	190,200	192,366	
<b>事業費累計</b>		5,986,371	6,176,571	6,366,771	6,556,971	6,749,337	
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	国際大会や全国大会において本県代表選手が優勝、入賞を果たすなど、選手強化事業は有効であるものの、国民体育大会天皇杯の総合順位は36位となった。					
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県のスポーツ振興には、全国大会や国際大会等で優秀な成績を収め、県民に夢や希望、感動を与えることが大切である。競技力向上を図るためには、選手強化と指導者養成、一貫指導体制の確立、更には、競技団体の強化体制を構築するなど組織的な対応が不可欠である。 また、国民体育大会41競技以外の競技団体の組織強化を図ることが、本県スポーツ界全体の発展につながることから、継続して事業を実施していく。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高等学校運動部活動強化指定事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画		

作成者	組織	スポーツ振興課				
	職・氏名	課長補佐 黒坂 昭弘				
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378				

**事業の背景・目的**  
 全国高体連が主催または共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

**事業の概要**  
 1 指定期間  
 平成28年4月1日～平成29年3月31日  
 2 指定方法  
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県教育委員会で審査の上、県教育長が指定

3 指定基準  
 いずれの指定においても当該年度の全国高校総体出場資格を有すること  
**【強化指定事業】**  
 <団体>  
 A指定  
 平成26年度、27年度いずれも、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること  
 B指定  
 平成26年度、27年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること  
 <個人>  
 A指定  
 平成26年度、27年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、平成28年度に当該校に在籍していること  
 B指定  
 平成26年度、27年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、平成28年度に当該校に在籍していること  
 <駅伝強化>  
 平成28年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること  
**【重点強化事業】**  
 別途指定した競技の中から、県教育委員会と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

施策・課題の状況								
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	B	
課題	競技力向上対策							
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人	
	目標値	現状値						
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	3,000	1,843	2,066	2,138	2,437	2,514		
強化対象競技数	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
	24	27	30	28	25			
事業費								
	(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
事業費	予算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
	決算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
一般	予算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
	決算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
財源	予算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
	決算	17,000	20,000	20,000	20,000	20,000		
事業費累計		523,800	543,800	563,800	583,800	603,800		
評価								
項目	評価	左記の評価の理由						
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	強化指定運動部活動に対する強化合宿費等に対する助成、強化指定選手に対する遠征費等に対する助成などによって、本県高校生の全国高校総体をはじめとする各種全国大会での優勝数は、H27は14回であったのに対し、H28は22回と大幅に増加した。県内運動部活動の活性化につながるものであり有効である。						
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	高校運動部活動は、毎年主力となる3年生が卒業し新たに新入生が加わるため、継続して強化していくことが、全国大会等で好成績を収めることや運動部活動の活性化につながる。						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化事業	事業開始年度	H5	事業終了予定年度		
		根拠法令	石川の教育振興基本計画			
		計画等				

作成者	組織	スポーツ振興課				
	職・氏名	課長補佐 黒坂 昭弘				
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378				

**事業の背景・目的**

全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

**事業の概要**

1 強化事業

(1) 実施競技  
県中学校体育連盟に加盟の18競技

(2) 対象  
県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3) 内容  
県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1) 実施競技  
重点強化競技に指定した5競技

(2) 対象  
将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待出来る選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3) 内容  
科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況								
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	B	
課題	競技力向上対策							
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人	
	目標値	現状値						
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	3,000	1,843	2,066	2,138	2,437	2,514		
北信越大会	目標	34	34	34	34	34		
優勝数	実績	16	19	13	21			
事業費								
(単位:千円)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500		
	決算	5,900	7,500	7,500	7,500	7,500		
一般	予算	5,900	7,500	7,500	7,500	7,500		
財源	決算	5,900	7,500	7,500	7,500	7,500		
事業費累計		120,634	128,134	135,634	143,134	150,634		
評価								
項目	評価	左記の評価の理由						
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	全国中学生大会において、ベスト8までの入賞数は昨年度の18から25に増加し、3位までの上位入賞者数も増加しており、近年、安定して上位入賞を続けている(H25:11、H26:12、H27:13、H28:15)。北信越大会での優勝数は、昨年度の13(団体6、個人7)から21(団体7、個人14)と増加している。 本事業の実施により、全国中学生大会や各種全国大会での継続的で安定した上位入賞が期待できる。						
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	中学生強化はジュニア選手の育成のみならず、高校生や成年の競技力向上を図る上で、欠かせない取り組みである。国体においても中学3年生が参加できる競技が増えており、チーム石川の長期的な競技力の維持・向上のためにも、この事業を継続していく必要がある。						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 科学的トレーニング特別強化事業	<b>事業開始年度</b> H20	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川の教育振興基本計画	

<b>作</b>	組	織	スポーツ振興課		
<b>成</b>	職	氏名	課長補佐	黒坂	昭弘
<b>者</b>	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378			

**事業の背景・目的**

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

**事業の概要**

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手100名
- 2 内容
  - (1) 講師招聘による研修会
  - (2) 基礎体力測定
  - (3) 専門測定・分析
  - (4) トレーニング処方作成・提示
  - (5) トレーニング実践指導
  - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成  
 ※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施
- (7) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導

※強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりの指導、スポーツマッサージ等  
 ※競技者の健康管理、及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導

- 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター
- 4 期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	競技力向上対策						
	<b>指標</b>	スポーツ指導者(有資格者)数				<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	3,000	1,843	2,066	2,138	2,437	2,514	
事業費							
	<b>(単位:千円)</b>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
<b>事業費</b>	<b>予算</b>	2,000	2,000	2,000	2,700	2,500	
	<b>決算</b>	2,000	2,000	2,000	2,700	2,500	
<b>一般</b>	<b>予算</b>	2,000	2,000	2,000	2,700	2,500	
<b>財源</b>	<b>決算</b>	2,000	2,000	2,000	2,700	2,500	
	<b>事業費累計</b>	15,040	17,040	19,040	21,740	24,240	
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	岩手国体で成年女子ハンドボールの4連覇をはじめ、少年男子水泳(水球)の優勝や、少年女子ライフル射撃2位、少年男子ボート3位、少年女子空手道3位入賞など、本事業による強化選手が成果を上げている。 専門グループ員の指導、アスレティックトレーナーによるコンディショニング指導、JISSとの連携を充実させ、選手の体力向上、心身のケア、栄養指導など、科学的トレーニングの各分野を有効活用し、競技力向上につなげている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	専門家による、最新の科学的根拠に基づいた指導を、各種競技特性に応じて実施し、多方面から選手をサポートしていくことが、効率的に競技力を向上させる上で必要不可欠である。さらに、アスレティックトレーナー等を活用した選手のコンディショニング指導を有効活用することにより、選手のより高いパフォーマンスを最大限に引き出すことができ、この事業を継続して取り組むことは大変重要である。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわグローバルアスリート支援事業	<b>事業開始年度</b>	H26	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課		
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川の教育振興基本計画				<b>成 職・氏名</b>	課長補佐 黒坂 昭弘	
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1392 内線 4378	

**事業の背景・目的**  
2020年東京オリンピック出場にむけて、本県が得意とする競技種目の有望選手を育成・強化し、より多くの本県関係選手がオリンピックに出場できるよう推進する。

**事業の概要**

1 対象者  
指定競技団体  
8競技:トランポリン・重量挙げ・ハンドボール・陸上(競歩)・水泳(飛込)・バドミントン・卓球・カヌー

2 事業の内容

(1) 県内トップコーチ事業  
県内の有力指導者による指導・助言

(2) 中央コーチ招聘事業  
中央の著名な指導者による国際レベルの指導

(3) 県内外、海外での合宿  
県内外、海外での合宿・練習会等

(4) 医・科学的サポート事業  
医・科学的なサポートを活用した実践

(5) コンディショニング指導事業  
科学的トレーニングの実践指導

**備考**  
期 間 ～平成31年3月31日(5ヶ年)

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	競技スポーツの充実・強化					<b>評価</b>	B
<b>課題</b>	競技力向上対策						
	<b>指標</b>	<b>スポーツ指導者(有資格者)数</b>				<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成32年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	3,000	1,843	2,066	2,138	2,437	2,514	

事業費						
	<b>(単位:千円)</b>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>事業費</b>	予算			8,000	8,000	8,000
	決算			8,000	8,000	8,000
<b>一般</b>	予算			8,000	8,000	8,000
	決算			8,000	8,000	8,000
<b>財源</b>				8,000	8,000	8,000
<b>事業費累計</b>		0		8,000	16,000	24,000

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)  今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	B	本県が得意とする競技の選手が国内外で行う合宿費用や医・科学的サポートに助成することによって、多くの県内出身者がオリンピックをはじめとする国際大会で活躍するなど、県内若手選手の育成・強化、及び県内各競技の活性化につながるものであり有効である。  H28年度実績 トランポリン:リオデジャネイロオリンピック出場 バドミントン:世界ジュニア選手権大会女子シングルス3位 ハンドボール:東アジアクラブ選手権3位
	継続	平成26・27年度は選抜期、平成28年度は育成期、平成29・30年度は強化期としており、強化指定された競技団体が、中央コーチ招聘事業をはじめとする、各種事業に取り組むことで、オリンピックや国際大会で活躍できる県内若手選手の育成・強化、及び県内各競技の活性化につなげる。